

山寺の四季 ― 秋

木々に覆われた山寺の山から朝霧が立ち昇り、木の葉の色が夏の緑から、秋の燃えるような赤と黄金色に変わります。訪れる人々は、寺院への道沿いの店の温かい芋煮（里芋、ネギ、こんにゃく、牛肉が入った醤油ベースのスープ）で身体を温めることができます。涼しい気候は五大堂まで急ぎ足で向かうのに適していて、ここからは溪谷の紅葉を眺めることができます。

秋分の週に山寺の上層部にある奥の院で行われる伝統的な仏教の法要には、一般参拝者も参加することができます。山寺で修行する僧侶たちは法華経を写経しなければなりません。これは時間のかかる作業で、完了までに 4 年間かかることもあります。うるう年の 11 月 28 日には、僧侶の行列が、山寺を建立した円仁（794 年～864 年）への捧げものとして、写し終えた教を納経堂に納める儀式を行います